

TOWING と兼松、一風堂を運営する力の源カンパニーへ

国産米と環境価値のセット供給を実現

～GHG 排出削減で、持続可能な国産米生産体系とサプライチェーンの構築を促進～

株式会社 TOWING(本社:愛知県名古屋市、代表取締役 CEO:西田 宏平、以下「TOWING」)と兼松株式会社(本社:東京都千代田区、代表取締役社長:宮部 佳也、以下「兼松」)は、株式会社力の源カンパニー(本社:福岡県福岡市中央区、代表取締役社長 山根 智之、以下「力の源」)へ、あきたのこまち農場(所在地:秋田県南秋田郡大潟村、代表取締役:田村 登司、以下「生産者」)により生産された国産米とその生産過程で創出された環境価値のセット供給を実現しました。

今回供給された国産米は、力の源が運営するラーメン専門店「一風堂」の国内一部店舗において提供されています。



水を張る前の農地にバイオ炭を散布する様子



力の源が運営する「一風堂」の店舗外観

本取り組みでは、J-クレジット方法論 AG-004「バイオ炭の農地施用」に基づき、生産者の水を張る前の農地にバイオ炭の施用を行いました。土壌に貯留された炭素量は、温室効果ガス(GHG)の削減量としてJ-クレジット化され、力の源向けに有償で無効化[※]。これにより、力の源は、生産者のバイオ炭導入コストを一部負担して、環境負荷低減の取り組みを支援し、兼松は、生産された国産米のトレーサビリティを確保した上で、力の源へ供給しました。TOWING は、バイオ炭の供給および、J-クレジットの創出・無効化を担っています。

なお、バイオ炭の農地施用によって創出された J-クレジットと、そこで収穫された農産物(コメ)のセット販売は、TOWING および兼松にとって初の取り組みとなります。また、生産者は、環境に配慮した生産に先駆的に取り組んでおり、実際に、今回の栽培では、化学肥料の使用量を地域の慣行レベル比で半分以下に削減してコメを生産しています。バイオ炭の施用は、GHG の削減だけでなく、土壌改良効果を通じて作物の生長に寄与することが期待されており、こうした先進的な取り組みを後押しします。

TOWING、兼松、力の源、生産者の4社は、農林水産省「みどりの食料システム戦略」に基づく取り組みの実施・支援を通して、持続可能な国産米の生産・供給体制の構築を目指していきます。

※ 無効化:創出された J-クレジットを、購入者の環境負荷低減の取り組みに充てるため、再販・再利用ができない状態にする制度上の手続き

■株式会社 TOWING について

「サステナブルな次世代農業を起点とする超循環社会を実現する」をミッションに掲げる、2020 年 2 月創業の名古屋大学発グリーン&アグリテックスタートアップです。地域の未利用バイオマスの炭化物に TOWING が保有する土壌由来の微生物群を効率的に選別・培養する技術を用いて開発した高機能バイオ炭「宙炭(そらたん)」の製造・販売、および関連する技術サービスの提供を行っています。同技術を活用して、宇宙開発利用加速化プログラム(スターダストプログラム)にも携わっており、月面農業を実現する研究開発も行っています。農林水産省みどりの食料システム法基盤確立認定事業者であり、2024 年 農林水産省中小企業イノベーション創出推進基金事業(SBIR フェーズ3基金事業:技術実証等)にも採択されています。

<TOWING 概要>

住所:愛知県名古屋市千種区不老町 1 番 国立大学法人東海国立大学機構名古屋大学インキュベーション施設

代表者:西田 宏平

事業内容:バイオ炭、宙炭の製造・販売、導入支援、宙炭の施用量に応じたカーボンクレジットの代理取得・販売、

および宙炭を利用して生産した作物の販売

設立:2020 年 2 月 27 日

URL:<https://towing.co.jp/>

<取材に関するお問い合わせ先>

株式会社 TOWING 広報チーム お問い合わせフォーム:<https://forms.gle/K3KxyC4WAGPbqu7M9>